

# ふたかみ NEWS プチトマト

FUTAKAMI NEWS PUCHITOMATO

June



## はびきの園 春のバザール Bazaar!

**4**月27日に、ふたかみ福祉会後援会主催による、春のバザールが開催されました。今回は初めて、はびきの園内で行わせて頂きました。当日は、晴天にも恵まれ、たくさんの方々にご来場いただきました。ありがとうございました。



## HB 作品紹介

ハピバールのなかまの作品を毎月紹介していきます。



### 「ゆうえんち」

ハピバールのムードメーカー。冗談を言ったり、とってもダンスが上手なのに、変なダンスをしてみんなをいつも笑わせている。絵も人柄が表れているようでとっても愉快で可愛い。もう一度同じ絵は描けない。たまにヤギになる。(メ〜と返事をしちゃう笑)

## 6月 物品販売イベント

### はびきの園

- 11日(火) 青山ケアセンター・・・11:30～13:00
- 18日(火) 葛井寺・・・10:00～14:00
- 25日(火) 道明寺・・・10:00～14:00
- 28日(土) 滝谷不動産・・・10:00～14:00

### HB ハピバール

- 堺高島屋 12日(水)～18日(火)

2019年度  
ふたかみ福祉会後援会入会  
更新のお願い

法人では「ハピバール」も2周年を迎え、日中事業所や相談支援、暮らしの場の充実をはかっています。皆様の引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い致します。同封の振込用紙でお振込み頂けると幸いです。【個人会費：1口3,000円 団体：1口10,000円】

## チャリティーコンサート2019

- 1部 障害のある仲間とボランティアのうたごえ
- 2部 芥川高校 和太鼓部コンサート

【芥川高校和太鼓部プロフィール】

2回の国立劇場公演、11か国での海外公演実績がある。中国政府から招かれての北京公演、文化庁による派遣でシンガポールでも演奏した。日本を代表する高校和太鼓チームで、地域のイベントや福祉施設、学校にも赴いている。日本各地の太鼓曲や踊り、民謡の他、創作にも取り組む。

- 日時：6月8日(土)  
開演：15:00 (開場14:30)
- 場所：LIC はびきの ホールM  
(羽曳野市鞍馬1丁目1-1)
- チケット：一般 ¥1,500 / 割引 ¥1,000\*1 / こども ¥500\*2  
\*1障がい者・高齢者 (65歳以上)、中高生 \*2小学校、幼児 (保護者に同席の場合)

### ■ 後援会入会 (敬称略)

2019年度4月分

- 山出 高平、奥長 君子・・・以上6口
- 丹羽 久子、下原 保、松永 匠、鎌田 修、森 信幸、山本 和美、佐野 省三、片田 登志子、三宅 渡、荻野 好美、上峠 通男、畑 英作、森 慶一、安井 敏雄、井上 忠志、平岡 俊雄、赤井 俊文、栢山 保、樽井 義憲、鈴木 繁男、那須 勝行、梁 誠一、上戸 将博、宮本 順市、新田 金次、安藤 操、高橋 伸之、井ノ内 康史、西田 佐知子、寺村 美知子・・・以上5口
- 細川 直幸、泉谷 利喜三・・・以上4口
- 古谷 章、森 和寛・・・以上2口
- 岡本 雅宏、土井 寛子、戸田 奈保・・・以上1口

### ■ ボランティア

・・・であい様 / 細川直幸様 / 松倉和代様  
垣内秀夫様

### ■ アルミ缶回収・・・980kg

ありがとうございました。

わたしが大切にしてきた実践

4

月13日(土)、いずみ野福祉会の井上尚美さんを講師にお迎えし、法人職員研修が行われました。講義のテーマは「わたしが大切にしてきた実践」でした。

これまで井上さんが実践で行われてきた事や感じた事、学んだ事をエピソードと共に話して下さいました。そのお話の数々は実際に起こった時には大変だったであろう話ばかりでしたが、楽しかった思い出のように嬉しそうに話して下さる井上さんの表情が印象的で、まるで目の前で起きている出来事のようにその様子が想像でき、これまで自分の実践であった出来事と重ねあわせながら、お話を伺う事ができました。

印象に残ったのが「次の事にチャレンジしている時、試行錯誤が長い時もある。丁寧に慌てないで見て欲しい」という言葉です。毎日共に過ごす中で、すぐには実を結ばない事もありますが、焦らず、その人の持つ「できる力」を信じ

て見守る。日々の実践で感じる「緩やかでも成長、発達がある」という事を見逃してはいけないと感じました。それこそが「自分なりに学び力をつける(頑張る)」事となり本人にとって成長の喜びとなり次の頑張りにつながるのだからと思えました。

もう一つが「なぜ、何のために、援助するのか。問題意識を持って見守る」という言葉です。本人の行動などから気持ちや困っている事を汲み取り見守り、時にはお手を伝いをする事で「この人は困っている事を解決してくれる人だ」と本人に自分自身で気付いてもらう。そして、その成功体験を重ねる事や、人との関係を作る事で、人に助けを求める事ができるようになり、本人が生きやすくなるというお話でした。このお話から、相手の心に寄り添う事の大切さを再度考える事ができました。自分らしく幸せに生きる事は本人だけでは難しく、だからこそ近くで過ごす私達が、その人生をいっしょに作る事ができればと思いました。

講義後は職員が各班に分かれグループワークが行われました。ベテラン職員から新人職員までが一つの班となり、受講した感想や、現在行っている支援について話し合いました。講義で井上さんが話して下さいました「励まし合う集団」や「問題意識を持って見守る」、「仮説を立てる大切さ」等から、一人で悩んだり解決しようとするのではなく、職員全体で話し合い、考え、良い実践をしようという、確認し合う事ができ、とても実りある時間となりました。



(細田)

強制不妊手術の救済法成立にあたって

18

優生保護法の下で20年以上不妊手術を強いられてきた障害者に対しての救済法が成立しました。超党派の議員で進められ、成立した事は評価します。しかし、その内容が非常にお粗末で被害者に対して誠意ある法案とは言えないように思います。国の責任をあいまいにする言葉で始まり、一人320万円という補償額は被害者の人権を軽く見ていると思わざるを得ません。また、審議の過程に当事者が入れられなかった事は、障害者の権利条約にも沿っていないとも言えません。

当事者や障害者団体からも不本意との声明が出されています。私たちは法案ができた事で終わりにせず、被害に遭った方々の尊厳が守られるまで訴え続けようと思います。更に学習を深め様々なことを我が事と思い、関わっていく事を進めていこうと思います。

(関口こ)

2019年度の法人研修

ふ

たかみ福祉会の法人研修では、全体で講義を聞く研修に加えて、2016年度より小グループ制の研修をおこなってきました。8人くらいのグループで、事前に文献を読んで感想を交流するグループや、事例検討をおこなうグループ、先輩職員からの実践論を聞いて何を大事にして仕事をしたらよいかと、「気づきを得る」ことができる研修機会としてきました。

障害のある人たちの支援をしていく上で、「自分の感覚」や「価値観」を押し付ける「経験論」実践とならないように、話し合いができるこういった研修をおこなうことで普段の仕事を見直すいい機会となっています。

2019年度も同じように小グループ制の研修を引き継いで行っていきます。内容に関しては、実践を深める文献読み合わせをおこなうグループや、法人理念を改めて学習するグループ、マネージメント

とっておきの音楽祭

4

力を高めるグループなどにわかれておこなう予定です。また入職1〜3年の職員を中心に、障害福祉の基礎を学ぶ連続講座も企画し、研修を充実させていきたいと思えます。(関口な)

4月27日今年も丹波篠山「とっておきの音楽祭」に参加してきました。はびきの園30名、ハピバル6名と大所帯での参加となりました。

大型連休の初日という事で渋滞も予想されましたが、スムーズに現地入り。出番までの間、付近を散策しました。本番のステージでは、はびきの園、ハピバルの仲間と「一杯、ピリッ」と「君とこの町で」を唄いました。また、仕事の事を発表し、



6月8日におこなわれるチャリティーコンサートの告知を行いました。ステージの後は、昼食、お土産を買い、黒豆コーヒーや黒豆ソフトクリームを食べ、他のステージを鑑賞しました。神戸から来ていた社会福祉法人たんぼぼのアフリカドラマムとダンスには仲間たちも圧倒されていました。帰りもスムーズに羽曳野に戻ることができ、楽しいイベントになりました。(大伴)



りもスムーズに羽曳野に戻ることができ、楽しいイベントになりました。(大伴)



Cafe HAPIBAR 夏メニュー

6

月より新しいメニュー「ペーコンレタスとまとサンド」が加わります。トマトソースをベースに厚切りベーコン、オムレツ、レタスをサンドした贅沢なサンドです。ハーフサイズもご用意していますので是非一度



かき氷

ペーコンレタスとまとサンド